

製品名: GTPase HRAS ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86958**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, IP 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:21 kDa; Observed MW:21 kDa

抗原情報

遺伝子名	GTPase HRAS
別名	CTLO; HAMS; HRAS1; RASH1; p21ras; C-H-RAS; H-RASID; C-BAS/HAS; C-HA-RAS1
遺伝子 ID	3265
SwissProt ID	P01112
免疫原	ヒト GTPase HRAS の合成ペプチド

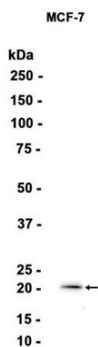
背景

この遺伝子は Ras がん遺伝子ファミリーに属し、そのメンバーは哺乳類肉腫レトロウイルスの形質転換遺伝子と関連している。これ

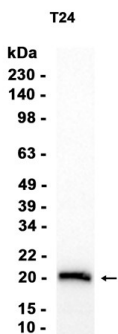
らの遺伝子によってコードされる産物はシグナル伝達経路において機能する。これらのタンパク質は GTP および GDP と結合することができ、固有の GTPase 活性を有する。このタンパク質は脱パルミトイル化と再パルミトイル化を継続的に繰り返し、細胞膜とゴルジ体間の迅速な交換を制御している。この遺伝子の変異はコストロ症候群を引き起こす。コストロ症候群は、出生前期の成長亢進、出生後期の成長不全、腫瘍形成の素因、認知障害、皮膚および筋骨格系の異常、特徴的な顔貌、心血管系の異常を特徴とする疾患である。この遺伝子の欠陥は、膀胱がん、甲状腺濾胞がん、口腔扁平上皮がんなど、様々ながんに関与している。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが同定されている。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

画像データ



GTPase HRAS ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した MCF-7 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。



AMRe86958 を 1:1000 で使用した T24 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。